

2018年5月24日(木) 晴

北摂「古宝山」

山の会例会参加

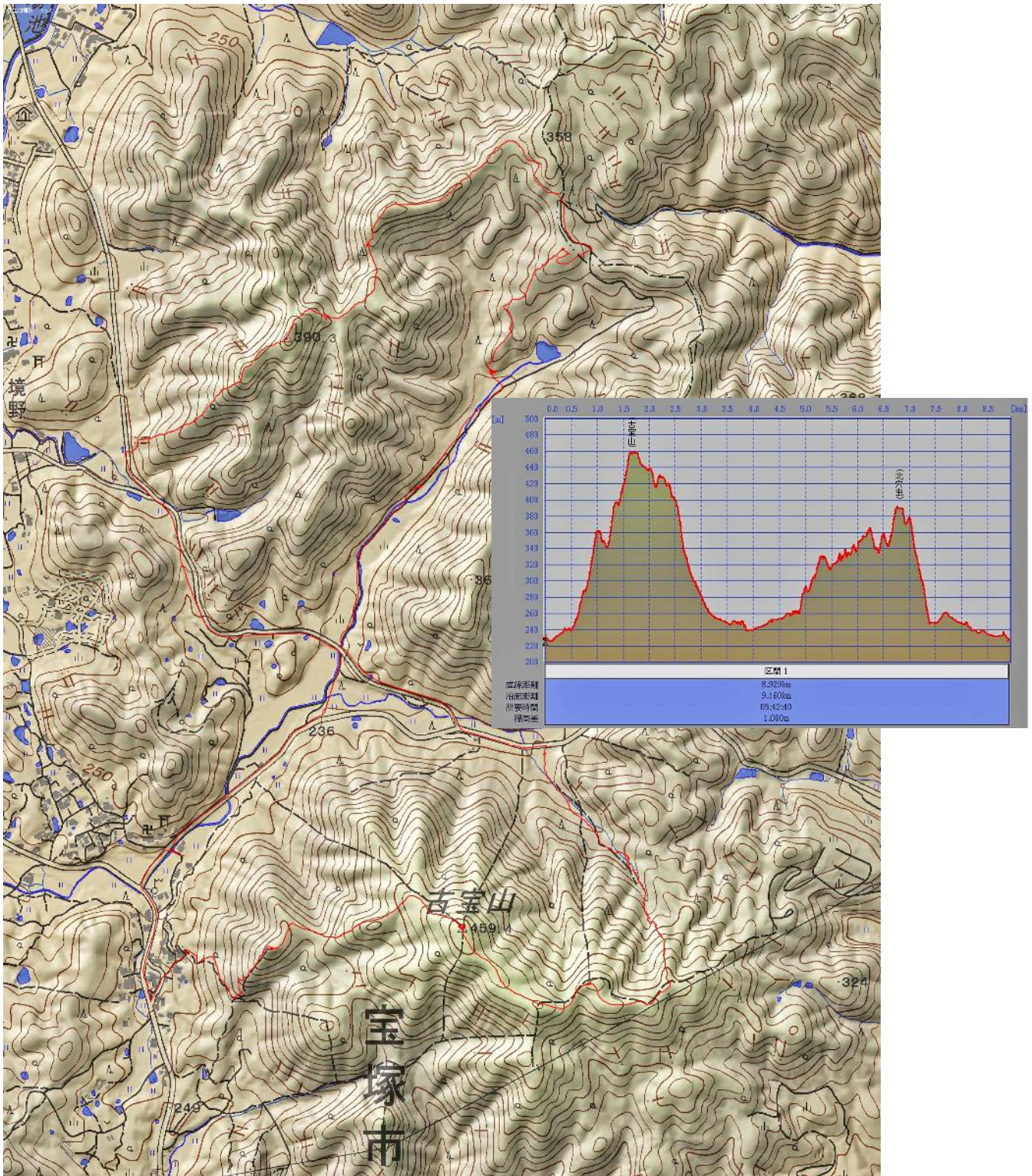
参加者 7名

コース距離: 9.2 Km、

所要時間: 5時間42分(休憩含む)

コースタイム: 玉瀬公民館(9:05)→(9:13)玉瀬辻→(10:04)古宝山→
(10:39)南東尾根分岐→(11:20)道別→(11:49)食事休憩
食事休憩(12:24)→(12:51)ソエ谷峠→(13:40)△390.3m北穴虫
→南西尾根→(14:24)道路→(14:47)玉瀬公民館

*山行軌跡 及び 行程グラフ



*山行記：

「道の駅いながわ」で待合せて車2台で登山口へ向かい駐車場所を探しながら車を走らせて玉瀬公民館を見つけて敷地に車を止めさせて頂く。

登山準備を済ませて玉瀬の登山口に向かう、地元の方に確認し登山口に入り登って行くと鳥居があり一息入れる、思ったより涼しくそよ風も吹いて気持ちがいい。

ここから少し下りが有り過ぎると又登りが始まる、登りきった所に三角点がありここが古宝山の山頂だ、周りを観たが中々標識が見付けられなかったが黒く薄汚れた標識が見つかった。

古宝山から南東の尾根を進んで行くと横に送電線が確認できるようになり送電線鉄塔の下に出てその先を少し進んで行くと東に尾根が出ている所より下りに掛かる。

昨日まで雨が降っていたので足元が緩んでいて滑り易い、不明瞭な踏み跡をたどって下って行くと谷川が現れてくる中を下って行き車道に出る。

車道を歩き近畿自然歩道に入りソエ谷峠に向かって行く、池の近くで工事がされている騒音が聞こえてくる、標識が有り左に尾根道と表示されているので左折し少し入った所で食事休憩を摂る。

食事後は工事現場を避けるため尾根道を上がって行く事になったが道が二つに分かれ左の登り側を進んで行きと道が無くなり右に延びた道を探しソエ谷峠に出る。

峠から三角点を目指すが目指し踏み跡は不明瞭な中を進んで行き4等三角点に出会う、点名は北穴虫である、下山は南西方向の尾根を下って行く踏み跡のない藪漕ぎをしながら道路に出られ公民館まで車道歩きで帰り着く。



登山口に向かう



登山道より見る古宝山



古宝山の山頂



古宝山の標識



古宝山の山頂にて



登山道より羽束山を観る



登山道で出会った花



尾根道の標識



ソエ谷峠の標識



登山道からの古宝山



4等三角点の北穴虫



北穴虫にて